



広島県江田島市議会広報会特別委員会視察受入

1月15日(水)広島県江田島市議会広報特別委員会の視察を受け入れました。

江田島市は自然が豊かで本町と通じるところが多く、自然環境を生かしたまちづくりを進められています。

お互いの表紙の作り方や特集記事の取材方法などについて意見を交わし、学び合うことの多い有意義な時間になりました。

委員会からひと言

「まずは手に取って読んでみたくなる議会広報」をスローガンに、町民の皆さんの関心が高い特集記事の掲載や、子どもたちの笑顔をテーマにした表紙・裏表紙の作成、一般質問のページの充実に取り組んできました。

これらの取組が評価され、全国から多くの議会に視察に来ていただいています。

これからも積極的に視察を受け入れ、情報交換を行い、町の魅力もPRしていきたいと思います。

県町村議会議長会主催広報研修会に参加

令和6年11月26日(火)福岡市の博多サンヒルズホテルで、福岡県町村議会議長会主催の広報研修会が開かれ、議会広報常任委員会のメンバーが参加しました。

全国的に選挙の投票率が低下し続けており、本町も例外ではありません。

町民の皆さんに議会での議論や取組をしっかりと伝えることが投票率の向上につながると思います。

今後も積極的な研修への参加、町議会全員対象の広報研修を行うなど「より伝わる広報」へと進化させていきます。



交通

私の視点「なぜここを質問したか」

スマートインターなどの道路交通網の整備と公共交通の充実による「快適な移動が可能となるまち」の実現に向けて、町の施策についてお尋ねしたい。



やすかわ よしゆき 議員 安川 禎幸

録画配信は
こちらから ▶



「快適な移動が可能となるまち」の将来像は

答弁(町長) スマートインターの実現に向け先頭に立ちアプローチしていく

◆スマートインターチェンジとは◆

高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りできるインターチェンジで、通行車両はETCを搭載しているものに限定される。宇美町では大型車両も通行できるフル規格のインター設置を目指している。

問 仮称…宇美町スマートインター設置要望の経緯は。
答 都市整備課長
令和4年12月に安川町長と宇美町企業懇談会会長との連名で国土交通大臣へ要望書を提出した。
令和5年度では九州地方整備局との協議の上、インター設置可能な区間の調査、交通量の推計、設置後の事業効果の調査を行い、2.3kmの区間が設置可能な区間との結果が出た。
今後は整備局、道路管理者のネクスコ、九州国道事務所、福岡県と協議を進める。

問 JR宇美駅の将来像は。
答 シティプロモーション課長
交通結節点である宇美駅で、他の公共交通へ乗り換えの情報発信、駅へのアクセス環境の改善、待合環境の改良など、計画に基づいて取り組んでいく。

問 都市計画道路志免宇美線・主要地方道筑紫野古賀線の進捗状況は。
答 都市整備課長
都市計画道路志免宇美線は、令和5～6年度で移転補償、用地買収、測量調査等を行っており、令和8年度末の完成を目指している。
主要地方道筑紫野古賀線は、令和5年度で若草橋交差点から山の内自治会入口交差点までの区間の工事と太宰府市との境に築造予定の橋梁工事着手に向け、用地買収を行っており、早期の完成を目指している。

質問を終えて

スマートインターの設置は今後の宇美町発展の起爆剤となるのではないかと。町の内外に与える影響も大きい。議会としても実現に協力していきたい。



答 町長
令和5年2月にAーオンデマンドバス「のーと宇美」を導入し、スマートインターの設置に向けては令和4年から動いている。
インターを設置し、周辺道路の整備を併せて行うことにより、交通利便性の向上をはじめ新たな企業の誘致や人口の増加、雇用の創出、渋滞の緩和、災害時の緊急搬送などに有効であり、町内外へ大きな波及効果をもたらす。
少しでも早く国の準備段階着手箇所に選定されるよう、今後も先頭に立って各方面にアプローチしていく。